

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
計画提案概要書 ＜原則として全て公開されることを前提として作成すること。＞	表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】」を「計画提案書概要書」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の右肩には、24ポイント以上の文字の大きさを「□-【連番】」を「□-1」から「□-18」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の後には、計画提案概要書の各項目に応じて指定された様式の上部右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入することとし、A3判片面横使い左綴じとして18部作成して提出すること。 	様式31表紙共通様式	1枚
	計画提案概要	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●原則として全て公開されることを前提として作成すること。 ●落札者決定基準別紙1に示す計画提案に関する各評価項目ごとに、評価の視点に示された内容に応じて工夫した計画提案の要点を箇条書きで簡潔に示すとともに、当該提案内容の詳細を確認できる経営管理計画書、施設整備計画書、管理運営計画書、付帯事業計画書の該当部分（書類名、項目名、頁数、工夫した提案内容の詳細に関する記載を確認できる部分等）を簡潔に示すこと。 	様式33計画提案共通様式	3枚以内
	施設計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●原則として全て公開されることを前提として作成すること。 ●施設整備計画書の「施設計画概要」を添付（再掲）すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	外観パース	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●原則として全て公開されることを前提として作成すること。 ●施設整備計画書の「外観パース」を添付（再掲）すること。 	様式33計画提案共通様式	3枚
	内観パース	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●原則として全て公開されることを前提として作成すること。 ●施設整備計画書の「内観パース」を添付（再掲）すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚
経営管理計画書	表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】」を「経営管理計画書」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の右肩には、24ポイント以上の文字の大きさを「□-【連番】」を「□-1」から「□-18」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の後には、計画提案概要書の各項目に応じて指定された様式の上部右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入することとし、A3判片面横使い左綴じとして18部作成して提出すること。 	様式31表紙共通様式	1枚
	経営管理総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(イ)に掲げる事項を記載すること。 	様式31表紙共通様式	2枚以内
	財務管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)のa及びbに掲げる事項を記載すること。 	様式31表紙共通様式	2枚以内

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
選定事業の資金調達計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(a)及び(b)に関する資金調達計画を記載すること。 ●資金調達条件表における調達資金名称については、PFI事業者が本事業に関して想定している調達資金の種類又は当該資金の調達に係る契約ごとに記入するものとし、名称については任意とするが当該調達資金の特徴を把握しやすいような名称（出資金、借入金、長期借入金、短期借入金、優先ローン、劣後ローン等）とすること。 ●資金調達条件表における調達実行予定日ごとの調達予定額には、調達に係る契約において、資金の調達を分割して段階的に実行することを想定している場合における当該分割実行ごとの調達額を実行予定日との関連がわかるように示すこと。 ●資金調達条件表における調達条件においては、調達に係る手数料の内訳及びその支払時期について示すこと。 ●借入金の調達及び償還計画書については現金主義により記入することとし、実際に資金の調達又は償還が生じる事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）に金額を記入すること。（調達条件及び償還条件に応じて事業年度を四半期に分割して表記すること。） ●借入金の調達及び償還計画書に記入する金額は、千円単位で千円未満を四捨五入して表記すること。 ●資金調達条件表及び借入金の調達及び償還計画書に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●必要に応じて資金調達条件表及び借入金の調達及び償還計画書の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式34資金調達計画	適宜
選定事業の資金収支計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(a)及び(b)に関する資金収支計画を記載すること。 ●本件入札の落札者決定日を含む事業年度から14年間にわたるPFI事業者における選定事業のみを対象とした資金収支を現金主義により記入することとし、実際に資金の収入又は支出が生じる事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）にそれぞれの金額を記入すること。 ●消費税等の経理処理については税抜経理方式とし、課税売上に対する消費税等については仮受消費税等、課税仕入れに対する消費税等については仮払消費税等として計上し、課税対象期間である当該事業年度における仮受消費税等の金額から仮払消費税等の金額を控除した金額が、プラスであれば翌事業年度における消費税等納付相当額、マイナスであれば翌事業年度における消費税等還付相当額となることに留意すること。 ●金額については千円単位で千円未満を四捨五入して表記し、物価変動を考慮しないこと。 ●事業収入については、PFI事業者が本市又は施設利用者等から得る収入について消費税等を含まない金額を記入すること。ただし、本市がPFI事業者に支払う消費税等については、資金調達における税金等のうち消費税等に関する収入として仮受消費税等に含めないで分けて計上すること。 ●出資金及び借入金の調達又は償還等については、資金調達計画書における金額と整合していること。 ●資金収支表に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●法人税等及び消費税等については、損益等計画書における金額と整合していること。 ●必要に応じて資金収支表の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式35資金収支計画	適宜
選定事業の損益等計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(a)及び(b)に関する損益等計画を記載すること。 ●本件入札の落札者決定日を含む事業年度から14年間にわたるPFI事業者における選定事業のみを対象とした営業収入及び営業費用について発生主義により金額を記入することとし、各事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）に発生する収入及び費用の相当額を記入すること。 ●法人税等についてはPFI事業者における選定事業のみを対象とした損益等計算を行うことを前提として算定した金額を記入すること。 ●消費税等の経理処理については税抜経理方式とし、課税売上となる営業収益の各項目又は課税仕入れとなる営業費用の各項目については消費税等を含まない金額とすること。 ●金額については千円単位で千円未満を四捨五入して表記し、物価変動を考慮しないこと。 ●仮払消費税等については、各事業年度における営業費用のうち課税仕入れに相当する金額に消費税等の税率を乗じて算定した金額を記入すること。 ●仮受消費税等については、各事業年度における営業収益のうち課税売上額に相当する金額に消費税等の税率を乗じて算定した金額を記入すること。ただし、本市からPFI事業者に支払われる事業費のうち消費税等が含まれることに留意すること。 ●損益等計算表に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●必要に応じて損益等計算表の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については1枚又は期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式36損益等計画	適宜
選定事業の収支算定根拠		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(a)及び(b)に関する資金収支計画における収支項目として、施設整備費、備品等設置費、割賦手数料、本施設等の引渡日までのPFI事業者の運営費用、本施設等の引渡日の翌日以降のその他費用、施設管理業務費用、施設運営業務費用、指定管理料、本施設の利用料金収入、駐車場の利用料金収入、水光熱費、通信費、公租公課（事業所税）、法人税等、配当等の内訳及び算定根拠を具体的に記載すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
自主事業の資金調達計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(c)に関する資金調達計画を記載すること。 ●資金調達条件表における調達資金名称については、自主事業を実施する提案企業が自主事業のみに関して想定している調達資金の種類又は当該資金の調達に係る契約ごとに記入するものとし、名称については任意とするが当該調達資金の特徴を把握しやすいような名称（出資金、借入金、長期借入金、短期借入金、優先ローン、劣後ローン等）とすること。 ●資金調達条件表における調達実行予定日ごとの調達予定額には、調達に係る契約において、資金の調達を分割して段階的に実行することを想定している場合における当該分割実行ごとの調達額を実行予定日との関連がわかるように示すこと。 ●資金調達条件表における調達条件においては、調達に係る手数料の内訳及びその支払時期について示すこと。 ●借入金の調達及び償還計画書については現金主義により記入することとし、実際に資金の調達又は償還が生じる事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）に金額を記入すること。（調達条件及び償還条件に応じて事業年度を四半期に分割して表記すること。） ●借入金の調達及び償還計画書に記入する金額は、千円単位で千円未満を四捨五入して表記すること。 ●資金調達条件表及び借入金の調達及び償還計画書に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●必要に応じて資金調達条件表及び借入金の調達及び償還計画書の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式34資金調達計画	適宜
自主事業の資金収支計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(c)に関する資金収支計画を記載すること。 ●本件入札の落札者決定日を含む事業年度から14年間にわたる自主事業を実施する提案企業における自主事業のみを対象とした資金収支を現金主義により記入することとし、実際に資金の収入又は支出が生じる事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）にそれぞれの金額を記入すること。 ●消費税等の経理処理については税抜経理方式とし、課税売上に対する消費税等については仮受消費税等、課税仕入れに対する消費税等については仮払消費税等として計上し、課税対象期間である当該事業年度における仮受消費税等の金額から仮払消費税等の金額を控除した金額が、プラスであれば翌事業年度における消費税等納付相当額、マイナスであれば翌事業年度における消費税等還付相当額となることに留意すること。 ●金額については千円単位で千円未満を四捨五入して表記し、物価変動を考慮しないこと。 ●事業収入については、自主事業を実施する提案企業が自主事業の実施により得ることを想定している収入について消費税等を含まない金額を記入すること。 ●借入金の調達又は償還等については、資金調達計画書における金額と整合していること。 ●資金収支表に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●法人税等及び消費税等については、損益等計画書における金額と整合していること。 ●必要に応じて資金収支表の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式35資金収支計画	適宜
自主事業の損益等計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(c)に関する損益等計画を記載すること。 ●法人税等については自主事業を実施する提案企業において自主事業のみを対象とした損益等計算を行うことを前提として算定した金額を記入すること。 ●本件入札の落札者決定日を含む事業年度から14年間にわたる自主事業を実施する提案企業における自主事業のみを対象とした営業収入及び営業費用について発生主義により金額を記入することとし、各事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）に発生する収入及び費用の相当額を記入すること。 ●消費税等の経理処理については税抜経理方式とし、課税売上となる営業収益の各項目又は課税仕入れとなる営業費用の各項目については消費税等を含まない金額とすること。 ●金額については千円単位で千円未満を四捨五入して表記し、物価変動を考慮しないこと。 ●仮払消費税等については、各事業年度における営業費用のうち課税仕入れに相当する金額に消費税等の税率を乗じて算定した金額を記入すること。 ●仮受消費税等については、各事業年度における営業収益のうち課税売上額に相当する金額に消費税等の税率を乗じて算定した金額を記入すること。 ●損益等計算表に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●必要に応じて損益等計算表の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については1枚又は期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式36損益等計画	適宜
自主事業の収支算定根拠		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(c)に関する資金収支計画における収支項目として、自主事業に関する収入、自主事業に関する支出、本施設の利用料、水光熱費、通信費、公租公課、法人税等、配当等の内訳及び算定根拠を具体的に記載すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
利便機能営業の資金調達計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(d)に関する資金調達計画について記載すること。 ●資金調達条件表における調達資金名称については、利便機能営業者が利便機能営業のみに関して想定している調達資金の種類又は当該資金の調達に係る契約ごとに記入するものとし、名称については任意とするが当該調達資金の特徴を把握しやすいような名称（出資金、借入金、長期借入金、短期借入金、優先ローン、劣後ローン等）とすること。 ●資金調達条件表における調達実行予定日ごとの調達予定額には、調達に係る契約において、資金の調達を分割して段階的に実行することを想定している場合における当該分割実行ごとの調達額を実行予定日との関連がわかるように示すこと。 ●資金調達条件表における調達条件については、調達に係る手数料の内訳及びその支払時期について示すこと。 ●借入金の調達及び償還計画書については現金主義により記入することとし、実際に資金の調達又は償還が生じる事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）に金額を記入すること。（調達条件及び償還条件に応じて事業年度を四半期に分割して表記すること。） ●借入金の調達及び償還計画書に記入する金額は、千円単位で千円未満を四捨五入して表記すること。 ●資金調達条件表及び借入金の調達及び償還計画書に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●必要に応じて資金調達条件表及び借入金の調達及び償還計画書の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式34資金調達計画	適宜
利便機能営業の資金収支計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(d)に関する資金収支計画について記載すること。 ●本件入札の落札者決定日を含む事業年度から14年間にわたる利便機能営業における利便機能営業のみを対象とした資金収支を現金主義により記入することとし、実際に資金の収入又は支出が生じる事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）にそれぞれの金額を記入すること。 ●消費税等の経理処理については税抜経理方式とし、課税売上に対する消費税等については仮受消費税等、課税仕入れに対する消費税等については仮払消費税等として計上し、課税対象期間である当該事業年度における仮受消費税等の金額から仮払消費税等の金額を控除した金額が、プラスであれば翌事業年度における消費税等納付相当額、マイナスであれば翌事業年度における消費税等還付相当額となることに留意すること。 ●金額については千円単位で千円未満を四捨五入して表記し、物価変動を考慮しないこと。 ●事業収入については、利便機能営業者が利便機能営業を実施することにより得る収入について消費税等を含まない金額を記入すること。 ●借入金の調達又は償還等については、資金調達計画書における金額と整合していること。 ●資金収支表に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●法人税等及び消費税等については、損益等計画書における金額と整合していること。 ●必要に応じて資金収支表の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式35資金収支計画	適宜
利便機能営業の損益等計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(d)に関する損益等計画について記載すること。 ●本件入札の落札者決定日を含む事業年度から14年間にわたる利便機能営業における利便機能営業のみを対象とした営業収入及び営業費用について発生主義により金額を記入することとし、各事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）に発生する収入及び費用の相当額を記入すること。 ●法人税等については利便機能営業において利便機能営業のみを対象とした損益等計算を行うことを前提として算定した金額を記入すること。 ●消費税等の経理処理については税抜経理方式とし、課税売上となる営業収益の各項目又は課税仕入れとなる営業費用の各項目については消費税等を含まない金額とすること。 ●金額については千円単位で千円未満を四捨五入して表記し、物価変動を考慮しないこと。 ●仮払消費税等については、各事業年度における営業費用のうち課税仕入れに相当する金額に消費税等の税率を乗じて算定した金額を記入すること。 ●仮受消費税等については、各事業年度における営業収益のうち課税売上額に相当する金額に消費税等の税率を乗じて算定した金額を記入すること。 ●損益等計算表に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●必要に応じて損益等計算表の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については1枚又は期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式36損益等計画	適宜
利便機能営業の収支算定根拠		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(d)に関する資金収支計画における収支項目として、利便機能営業に関する収入、利便機能営業に関する支出、公有財産貸付料（各事業年度において年間の貸付料を期初に支払うこと。）、水光熱費、通信費、公租公課、法人税等、配当等の内訳及び算定根拠を具体的に記載すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
付帯事業の資金調達計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(e)に関する資金調達計画について記載すること。 ●資金調達条件表における調達資金名称については、付帯事業者が付帯事業に関して想定している調達資金の種類又は当該資金の調達に係る契約ごとに記入するものとし、名称については任意とするが当該調達資金の特徴を把握しやすいような名称（出資金、借入金、長期借入金、短期借入金、優先ローン、劣後ローン等）とすること。 ●資金調達条件表における調達実行予定日ごとの調達予定額には、調達に係る契約において、資金の調達を分割して段階的に実行することを想定している場合における当該分割実行ごとの調達額を実行予定日との関連がわかるように示すこと。 ●資金調達条件表における調達条件においては、調達に係る手数料の内訳及びその支払時期について示すこと。 ●借入金の調達及び償還計画書については現金主義により記入することとし、実際に資金の調達又は償還が生じる事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）に金額を記入すること。（調達条件及び償還条件に応じて事業年度を四半期に分割して表記すること。） ●借入金の調達及び償還計画書に記入する金額は、千円単位で千円未満を四捨五入して表記すること。 ●資金調達条件表及び借入金の調達及び償還計画書に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●必要に応じて資金調達条件表及び借入金の調達及び償還計画書の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式34資金調達計画	適宜
付帯事業の資金収支計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(e)に関する資金収支計画について記載すること。 ●本件入札の落札者決定日を含む事業年度から付帯事業の事業期間の終了日の翌事業年度末日までにわたる付帯事業者における付帯事業のみを対象とした資金収支を現金主義により記入することとし、実際に資金の収入又は支出が生じる事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）にそれぞれの金額を記入すること。 ●消費税等の経理処理については税抜経理方式とし、課税売上に対する消費税等については仮受消費税等、課税仕入れに対する消費税等については仮払消費税等として計上し、課税対象期間である当該事業年度における仮受消費税等の金額から仮払消費税等の金額を控除した金額が、プラスであれば翌事業年度における消費税等納付相当額、マイナスであれば翌事業年度における消費税等還付相当額となることに留意すること。 ●金額については千円単位で千円未満を四捨五入して表記し、物価変動を考慮しないこと。 ●事業収入については、付帯事業者が付帯事業を実施することにより得られる収入について消費税等を含まない金額を記入すること。 ●借入金の調達又は償還等については、資金調達計画書における金額と整合していること。 ●資金収支表に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●法人税等及び消費税等については、損益等計画書における金額と整合していること。 ●必要に応じて資金収支表の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式35資金収支計画	適宜
付帯事業の損益等計画		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(e)に関する損益等計画について記載すること。 ●本件入札の落札者決定日を含む事業年度から付帯事業の事業期間の終了日の翌事業年度末日までにわたる付帯事業者における付帯事業のみを対象とした営業収入及び営業費用について発生主義により金額を記入することとし、各事業年度（令和4年度から令和13年度の間は四半期ごと）に発生する収入及び費用の相当額を記入すること。 ●法人税等については付帯事業者において付帯事業のみを対象とした損益等計算を行うことを前提として算定した金額を記入すること。 ●消費税等の経理処理については税抜経理方式とし、課税売上となる営業収益の各項目又は課税仕入れとなる営業費用の各項目については消費税等を含まない金額とすること。 ●金額については千円単位で千円未満を四捨五入して表記し、物価変動を考慮しないこと。 ●仮払消費税等については、各事業年度における営業費用のうち課税仕入れに相当する金額に消費税等の税率を乗じて算定した金額を記入すること。 ●仮受消費税等については、各事業年度における営業収益のうち課税売上額に相当する金額に消費税等の税率を乗じて算定した金額を記入すること。 ●損益等計算表に記載する金額については、関連する他の計画提案書類に示された金額と整合していること。 ●必要に応じて損益等計算表の行を追加することは差し支えないものとし、枚数については期間を分割して複数枚で示すこと。 	様式36損益等計画	適宜
付帯事業の収支算定根拠		<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(ウ)_dの(e)に関する資金収支計画における収支項目として、民間収益施設の整備費、不動産取得税、付帯事業に関する収入、付帯事業に関する支出、公有地貸付料（各事業年度において年間の貸付料を期初に支払うこと。）、公租公課（固定資産税、都市計画税等）、法人税等、配当等の内訳及び算定根拠を具体的に記載すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
	業務管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_アにおける(エ)のa、b、e、f及び(オ)に掲げる事項について記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	セルフモニタリング計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_ア_(エ)_cに掲げる事項について記載すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜
	要求水準確認計画書	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書に示す各要求水準ごとに当該要求水準に対するセルフモニタリングによる確認時期、確認方法、確認結果を示す一覧表を示すこと。 ●計画提案提出段階で要求水準を達成していることを具体的に確認できる場合は、確認時期の欄に「計画提案提出時」、確認方法の欄に「計画提案参照」、確認結果欄に要求水準を達成したことが確認できる内容が記載されている計画提案の書類名、項目、頁、当該内容が記載されている部分を簡潔に示すこと。 	様式33計画提案共通様式	適宜
	契約等一覧	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_アの(エ)のdに掲げる事項について記載すること。 	様式37契約等一覧	適宜
	保険等一覧	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_1_(5)_アの(エ)のdに掲げる事項のうち保険契約について記載すること。 	様式38保険等一覧	適宜
	中表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●中表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】 添付資料」を「経営管理計画書 添付資料」というように記入すること。（様式32の記入例を参照） ●中表紙の後には、添付資料の様式の上側右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入すること。 	様式32中表紙共通様式	1枚
	添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて計画提案の内容を補足する添付資料を様式33計画提案共通様式に添付すること。 ●様式上側左側の欄には、14ポイント以上の文字の大きさを補足する計画提案の内容が記載されている「項目」、「頁数」、「該当部分」を「経営管理総合計画 1頁 経営管理方針」というように記入すること。 ●様式の上側右側の欄には、18ポイント以上の文字の大きさを全ての添付資料を通じて連番で頁を記入すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜
施設整備計画書	表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】」を「施設整備計画書」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の右肩には、24ポイント以上の文字の大きさを「□-【連番】」を「□-1」から「□-18」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の後には、計画提案概要書の各項目に応じて指定された様式の上側右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入することとし、A3判片面横使い左綴じとして18部作成して提出すること。 	様式31表紙共通様式	1枚
	施設計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●本施設及び提供公園の特徴及び概要について、主に整備方針（コンセプト）、敷地利用の特徴、配置計画の特徴、平面計画（屋外プールの種類、内容、配置等を含む。）の特徴、意匠（デザイン）の特徴、構造計画の特徴、設備計画の特徴、外構計画（駐車場、民間収益施設、周辺施設や環境との調和等）の特徴等の説明、敷地概要（規模等）、施設概要（規模、構造、用途等）の他、必要に応じてそれらの特徴等を示すために配置計画図や外観パース、内観パース等を縮小表示するなどして示すこと。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
	外観パース	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●鳥瞰パースを1枚及び視点の異なる近景パースを2枚の合計3枚の外観パースを示すこと。 ●鳥瞰パースを作成する視点は、事業用地の南側から事業用地を望む方向の視線を基本とするが、施設の特徴を示すのにより適切な視点の位置がある場合は当該視点から作成すること。 ●近景パースを作成する視点は、人の視線程度の高さとし、事業用地の南西側及び南東側からそれぞれ事業用地を望む方向の視線を基本とするが、施設の特徴を示すのにより適切な方向の視線がある場合は、当該視点から作成すること。 	様式33計画提案共通様式	3枚
	内観パース	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●本施設の利用者が目にする管理棟内の雰囲気をもよく示すことができる部分、管理棟の監視員室などからプール槽やプールサイドゾーンの部分を見渡すプール施設部分を対象とした内観パースを1枚ずつ作成すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚
	配置計画図	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●事業用地の範囲を対象として、再整備用地の範囲、付帯事業用地の範囲、本施設、提供公園及び民間収益施設の位置及び形状を示した配置計画図を示すこと。 ●図面は着色等により明瞭な表現とし、敷地境界線を明記、縮尺は1/400程度、方角を記入すること。 ●施設については、名称、階数及び出入口を示すこと。 ●事業用地内外における歩行者、自転車（自動二輪車を含む。）、自動車（施設利用者用、施設管理用等）車等の動線がわかるように示すこと。 	様式33計画提案共通様式	1枚
	平面計画図	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●再整備用地の範囲から付帯事業用地の範囲を除いた本施設及び提供公園を整備する範囲を対象として、プール施設部分における各プール槽、管理棟、プールサイドゾーン、外構部分における駐車場ゾーン、駐輪場ゾーン、管理ゾーン、共用ゾーンの位置及び形状を示した平面計画図を示すこと。 ●プール監視台、屋外照明、屋外便所等の他、本施設の管理運営において必要な主な設備や機材等の位置や概要がわかるように示すこと。 ●図面は着色等により明瞭な表現とし、敷地境界線を明記、縮尺は1/400程度、方角を記入すること。 ●プール施設部分の周囲に設ける囲障、プール施設部分と敷地外又は外構部分との間における出入口等の他、利用者動線及び施設管理者等の管理動線がわかるように示すこと。 	様式33計画提案共通様式	1枚
	プール計画図	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●プール施設部分に設けられる各プール槽について、水面積、スライダー等の構築物、プールの水深、プール槽周囲の形状等を示すための平面図、立面図、断面図を示すこと。 ●図面は着色等により明瞭な表現とし、利用者が利用できる範囲及び動線、施設管理者のみが管理する範囲及び動線、主な仕上げ、附属設備等の概要などがわかるように示すこと。 	様式33計画提案共通様式	適宜
	管理棟等計画図	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●管理棟の他、プール施設部分に設ける日除け、屋外便所等の施設概要を示すための平面図、立面図、断面図を示すこと。 	様式33計画提案共通様式	適宜
	仕上表	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●本施設のプール槽、プールサイドゾーン、及び管理棟における屋根、外壁、建具、外部金属部分、天井、壁、床等の主な仕上げについて示すこと。 	様式33計画提案共通様式	適宜
	外構及び植栽計画図	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●外構部分の主な仕上げ、植栽について示すこと。 ●外構部分の囲障、駐車場、車路、駐輪場、構内歩道等の主な仕上げの他、外構の仕上げの境界を示すこと。 ●植栽は高木、中木、低木の判断ができるように表現すること。 	様式33計画提案共通様式	1枚

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
	構造計画図	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●構造計画方針（耐震性能及び耐用性に関する基本的な考え方を含む。）、主要構造材料、基礎構造計画概要、架構計画概要、基本検討における計算概要について示すこと。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	電気設備計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●電気設備計画方針（電力及び電話等通信の引込み方法、LCCの低減に向けた機器及びシステムの選定方針等を含む。）、電気設備概要（受変電・電源設備、電灯設備、静止形電源設備、自家発電設備、避雷設備、電話設備、情報設備、電気時計設備、放送設備、緊急時通報設備、機械警備設備、火災報知設備、映像・音響設備等）を示すこと。 ●電気設備の全体システム・系統図（構内配電線路、構内通信線路を含む。）、各階機器配置図、機器リストを示すこと。 	様式33計画提案共通様式	3枚以内
	機械設備計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●機械設備計画方針（LCCの低減に向けた機器及びシステムの選定方針等を含む。）、機械設備概要（熱源機器設備、空調設備、換気設備、排煙設備、自動制御設備、給水設備、排水設備、衛生器具設備、冷水給湯設備、ガス設備、消防設備、昇降機設備等）を示すこと。 ●機械設備の全体システム・系統図、各階機器配置図、機器リストを示すこと。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	循環ろ過設備計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●循環ろ過計画方針（LCCの低減に向けた機器及びシステムの選定方針等を含む。）、循環ろ過設備概要を示すこと。 ●循環ろ過設備の全体システム・系統図、各階機器配置図、機器リストを示すこと。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	設計業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(2)_ア_(1)_aに掲げる事項について記載すること。 	様式33計画提案共通様式	1枚
	建設業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(2)_イ_(1)_aに掲げる事項について記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	工事監理業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(2)_ウ_(1)_aに掲げる事項について記載すること。 	様式33計画提案共通様式	1枚
	施設整備費内訳書	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●PFI事業者が支払う本施設等に係る施設整備費の内訳書を示すこと。 	様式33計画提案共通様式	1枚
	備品等設置業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(2)_エ_(1)_aに掲げる事項について記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	備品等一覧	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●備品等設置業務により調達予定の備品等の内容、仕様、数量、設置又は保管場所を一覧表にして示すこと。 	様式33計画提案共通様式	適宜

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
	中表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●中表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】 添付資料」を「施設整備計画書 添付資料」というように記入すること。（様式32の記入例を参照） ●中表紙の後には、添付資料の様式の上部右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入すること。 	様式32中表紙共通様式	1枚
	添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて計画提案の内容を補足する添付資料を様式33計画提案共通様式に添付すること。 ●様式上部左側の欄には、14ポイント以上の文字の大きさを補足する計画提案の内容が記載されている「項目」、「頁数」、「該当部分」を「経営管理総合計画 1頁 経営管理方針」というように記入すること。 ●様式の上部右側の欄には、18ポイント以上の文字の大きさを全ての添付資料を通じて連番で頁を記入すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜
管理運営計画書	表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】」を「管理運営計画書」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の右肩には、24ポイント以上の文字の大きさを「□-【連番】」を「□-1」から「□-18」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の後には、計画提案概要書の各項目に応じて指定された様式の上部右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入することとし、A3判片面横使い左綴じとして18部作成して提出すること。 	様式31表紙共通様式	1枚
	施設管理総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(3)_キ_(7)_aに掲げる事項を総合的に調整しながら本施設の機能、性能及び美観を維持し、本施設を安全かつ快適に利活用できる状態に保つための方針（基本的な考え方）について示すこと。 	様式33計画提案共通様式	1枚
	保守管理業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(3)_キ_(7)のbからeに掲げる事項（長期修繕計画に係る事項を除く。）を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	長期修繕計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(3)_キ_(7)のbからeに掲げる事項のうち長期修繕計画に係る事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜
	清掃業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(3)_キ_(7)_fに掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	警備業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(3)_キ_(7)_gに掲げる事項を記載すること。 ●本施設におけるセキュリティ計画（鍵管理の方法等を含む）を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	3枚以内
	施設管理業務費用内訳書	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●PFI事業者が支払う施設管理業務に係る費用の内訳書を示すこと。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	施設運営総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(4)_オ_(7)_aに掲げる事項を総合的に調整しながら本施設においてスポーツ、レクリエーション等の振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するための遊泳の機会、健康増進の機会及びスポーツ振興の機会を提供するための方針（基本的な考え方）について示すこと。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	屋外プール利用営業計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上部左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上部右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを頁を記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(4)_オ_(7)_bに掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
	スポーツ・レクリエーション利用営業計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(4)_オ_(7)_cに掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	その他の施設運営業務計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(4)_オ_(7)_dに掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	施設運営業務費用内訳書	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●PFI事業者が支払う施設運営業務に係る費用の内訳書を示すこと。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	自主事業総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_3_(5)_イ_(7)_aに掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	利便機能営業計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_4_(4)_ア_(7)に掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	中表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●中表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】 添付資料」を「管理運営計画書 添付資料」というように記入すること。（様式32の記入例を参照） ●中表紙の後には、添付資料の様式の上側右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入すること。 	様式32中表紙共通様式	1枚
	添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて計画提案の内容を補足する添付資料を様式33計画提案共通様式に添付すること。 ●様式上側左側の欄には、14ポイント以上の文字の大きさを補足する計画提案の内容が記載されている「項目」、「頁数」、「該当部分」を「経営管理総合計画 1頁 経営管理方針」というように記入すること。 ●様式の上側右側の欄には、18ポイント以上の文字の大きさを全ての添付資料を通じて連番で頁を記入すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜
付帯事業計画書	表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】」を「付帯事業計画書」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の右肩には、24ポイント以上の文字の大きさを「□-【連番】」を「□-1」から「□-18」というように記入すること。（様式31の記入例を参照） ●表紙の後には、計画提案概要書の各項目に応じて指定された様式の上側右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入することとし、A3判片面横使い左綴じとして18部作成して提出すること。 	様式31表紙共通様式	1枚
	付帯事業総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_5_(6)_ア_(7)のaからcまで及びgに掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	2枚以内
	民間収益施設整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_5_(6)_ア_(7)_dに掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	10枚以内
	民間収益施設管理運営計画	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目に応じて指定された様式の上側左側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを「項目」、上側右側の欄には18ポイント以上の文字の大きさを記入すること。 ●要求水準書_第3_5_(6)_ア_(7)_e及びfに掲げる事項を記載すること。 	様式33計画提案共通様式	4枚以内

別紙1 本牧市民プール再整備事業に関する提出書類の記載要領（計画提案）

書類名	項目	記載要領	様式	枚数
	中表紙	<ul style="list-style-type: none"> ●中表紙の中央部には、36ポイント以上の文字の大きさを「【書類名】 添付資料」を「付帯事業計画書 添付資料」というように記入すること。（様式32の記入例を参照） ●中表紙の後には、添付資料の様式の上部右側の欄に18ポイント以上の文字の大きさを1から順に連番で頁を記入することと。 	様式32中表紙共通様式	1枚
	添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて計画提案の内容を補足する添付資料を様式33計画提案共通様式に添付すること。 ●様式上部左側の欄には、14ポイント以上の文字の大きさを補足する計画提案の内容が記載されている「項目」、「頁数」、「該当部分」を「経営管理総合計画 1頁 経営管理方針」というように記入すること。 ●様式の上部右側の欄には、18ポイント以上の文字の大きさを全ての添付資料を通じて連番で頁を記入すること。 	様式33計画提案共通様式	適宜